

第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプランの取組状況について

【総括】 第3期アクションプランの10の項目のうち、7つの項目で目標値を達成したものの、その内2項目(※)では、平成29年度数値を下回った。また、目標値に未達であった3項目の内、2項目(※)は平成29年度数値を上回ることができた。(※)各々1項目で見込み数値との評価

指標ごとの状況

指標	第2期アクションプラン		第3期アクションプラン				H30目標達成状況	H30の評価	
	H29	H30	R1	R2	R3				
歳入	口座振替加入率(%) (※1)	目標	60.0	56.3	57.5	58.8	60.0	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 7月にペイジー口振専用端末を未設置の市民センター5か所及び債権管理課、健康保険課に設置したことで、申し込みのできる場所が拡大し、ペイジーを使った手続数は増加したものの、資格喪失などによる減が多く、目標は達したが平成29年度数値は下回った。 (ペイジーを使った手続数 H29: 5,701件 H30: 6,491件) 【今後の予定】 千葉市への転入や社保離脱等の国保へ加入する世帯に対して、加入と同時にペイジー口振の促進を行うべく区役所窓口での案内を勧める。
		実績	56.9	56.8					
の	電話催告延べ件数(件) (※2)	目標	— (※4)	71,000	76,000	81,000	86,000	△	【取組み内容及び目標値に対する評価】 市税等納付推進センターにおいて、滞納範囲を広くするなど架電対象者の拡大を行った結果、平成29年度実績(55,986件)は超えたが、目標値は達成できなかった。 【今後の予定】 架電はするものの、電話が繋がる事例は減少傾向にあり、電話以外の方法での連絡手法を模索する。
		実績	55,986	55,998					
確	滞納処分における差押金額(千円)	目標	— (※4)	175,000	185,500	196,600	208,400	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 債権管理課による年度当初移管案件の差押の徹底及び、年度途中においても健康保険課による財産調査で財産が発見された案件をいち早く債権管理課によって差押を行ったこと等により、目標達成している。 【今後の予定】 引き続き、財産を発見した滞納者については、早期に差押を実施する。
		実績	191,210	242,675					
保	所得無申告世帯数(世帯)	目標	— (※4)	7,644	7,107	6,587	6,096	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 平成30年2月(平成29年度)に平成30年度賦課のための所得申告勧奨文書を発送、平成30年7月に所得申告書を同封した申告勧奨文書発送、平成30年8・9月には申告勧奨をしてもなお無申告の者に対する市税等納付推進センターからの電話による申告勧奨を行った。その結果、目標達成している。 【今後の予定】 引き続き、各種手続きの際に所得申告状況を確認し、無申告者への申告勧奨を行う。
		実績	7,594	6,614					
納率(%)	現年分	目標	91.2	90.5	92.3	92.8	93.3	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 ・現年分・・・9月に現年分についても一斉催告を実施したことや、納付書付催告を平成29年度(5月)より早く2月から実施したことなどにより、収納率は目標を達成した。 ・滞納繰越分・・・滞納処分の早期着手や、一斉催告実施時に納付書を同封した催告書を送付したことなどにより、収納率は目標を達成した。 ・全体・・・上記の取り組みのほか、滞納整理指導員を増員するなど徴収体制を強化したことにより、目標を達成した。 【今後の予定】 令和元年度より現年分の徴収強化を行うチームを設置し、SMS(ショートメールサービス)や委託による催告などによって、納め忘れに対する注意喚起を丁寧に行い、現年分の徴収強化を図る。
		実績	90.8	91.5					
	滞納繰越分	目標	21.1	20.1	20.6	21.1	21.6	○	
		実績	20.3	22.3					
全体(参考)	目標	78.8	76.2	78.7	79.2	79.8	○		
	実績	76.8	77.5						

指標	第2期アクションプラン		第3期アクションプラン				H30目標達成状況	H30の評価	
	H29	H30	R1	R2	R3				
歳	医薬品全体に占めるジェネリック医薬品数の割合(%) (※3)	目標	70.0	73.5	77.0	80.0	81.0	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 被保険者証に貼って使用するジェネリック医薬品希望シールの配布や、年4回の差額通知の発送等の取組を行い、平成30年度は目標値を上回った。 【今後の予定】 平成29年度は実施しなかった普及啓発ポスター作成を平成30年度から再開し、令和元年度についても予算措置した。今後は、差額通知の実施結果を分析し、効果をより高めるよう方法の見直しを図るほか、令和2年度に向け新たな啓発策を検討する。
		実績	72.5	76.9					
出	第三者行為に係る求償委託件数(件)	目標	— (※4)	245	255	260	265	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 負傷原因調査の未回答者に対し再調査を行うなど、第三者行為に係る事故等の抽出に努めているが、国保連への求償委託件数の目標件数は達成できていない。 【今後の予定】 第三者行為に係る負傷と判明後、届出に時間を要している案件が多いため、経過を追いながら届出に繋がるように被保険者や保険会社へ働きかけを強化していく。
		実績	243	190					
抑	特定健康診査受診率(%)	目標	45.0	39.5	41.0	42.5	44.0	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 未受診者勧奨は、企画提案方式にて委託事業者を選定、長期末受診者、前年度新規受診者に重点をおき、複数パターンでの通知(155,926人)、SMSを活用し(8,145人)に勧奨し、5年間の健診結果通知を74,272人に送付したが、目標は達したものの平成29年度数値を下回る見込み。 【今後の予定】 平成30年度末にプロポーザルにて業者を選定し、3年連続同一業者となった。例年9月から開始していた勧奨時期を2か月早め、7月から受診勧奨を行う。その他、自ら人間ドック等、他検診の受診を行っていた方に健診データの提供を求め、提供者に対して500円程度の謝礼を行うことで、健診データの提供を促し、受診率の向上に努める。
		実績	39.9	39.5 (※5)					
制	特定保健指導実施率(%)	目標	35.0	16.5	18.0	19.5	21.0	△	【取組み内容及び目標値に対する評価】 保健指導の未利用者に通知発送、支援対象によりその後架電勧奨を実施した。指導の初回面接は訪問支援とし、対象者の利便性が向上した。現在は令和元年度7月末数値のため平成29年度を下回っているが、確定値は目標には達しないものの、平成29年度数値は上回る見込み。 【今後の予定】 令和元年度からは、動機づけ支援の民間事業者への委託を拡充する。
		実績	14.7	11.3 (※5)					

達成状況 ○: 目標達成 ○: 目標達成したが、H29と比べ悪化 △: 目標未達だが、H29と比べ改善 ×: 目標未達
 ※1 特別徴収分は総数(分母)から除く ※2 令和元年度からの徴収業務一元化に伴い、区役所と納付推進センターの合計で評価 ※3 『後発医薬品/(後発医薬品のある先発医薬品+後発医薬品)』の数量シェア ※4 第3期アクションプランからの指標のため目標値なし ※5 R01.7月末時点の数値 確定は10月頃